

ヒューマン・ヘルスケア (h/hc) 企業 エーザイの事業概要と経営戦略



エーザイ株式会社
2009年6月22日

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。

本日のトピックス

事業内容

理念・透明性

認知症への取り組み

製品創出の新体制

2010年の展望

株主還元の考え方

2009年度見通し

事業内容

皆様の身近な製品



チョコラBBやナボリンの会社？

日本の生活者の皆様に馴染みのある「チョコラBB」や「ナボリン」などの一般用医薬品の売上高は全体の数パーセントで、医療用医薬品が売上高の90%以上を占めています。

⇒ 2つの大型製品が収益を牽引

アリセプト® アルツハイマー型認知症治療剤



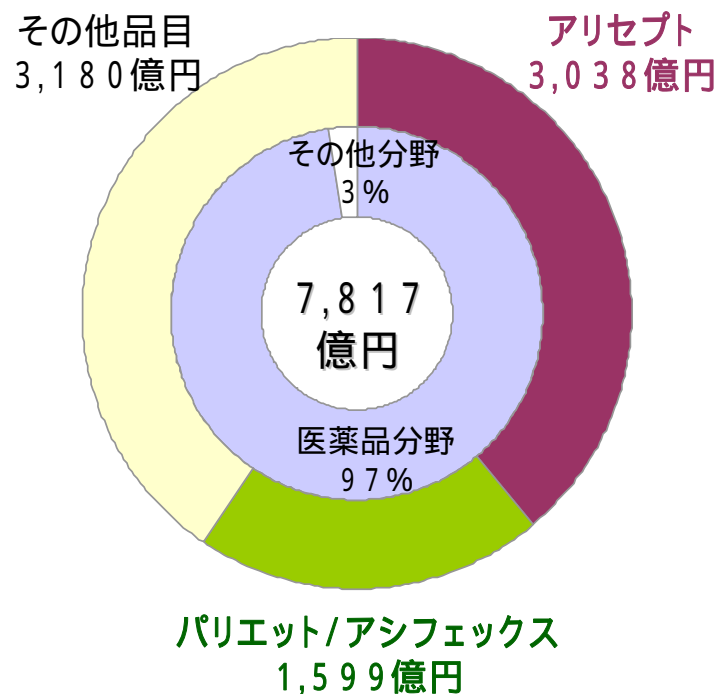
- アルツハイマー病治療剤のリーディングカンパニー
- 国内唯一のアルツハイマー病治療剤

パリエット® / アシフェックス® 抗潰瘍剤



- 国内抗潰瘍剤市場で唯一、シェアが拡大している薬剤

2008年度売上高構成比

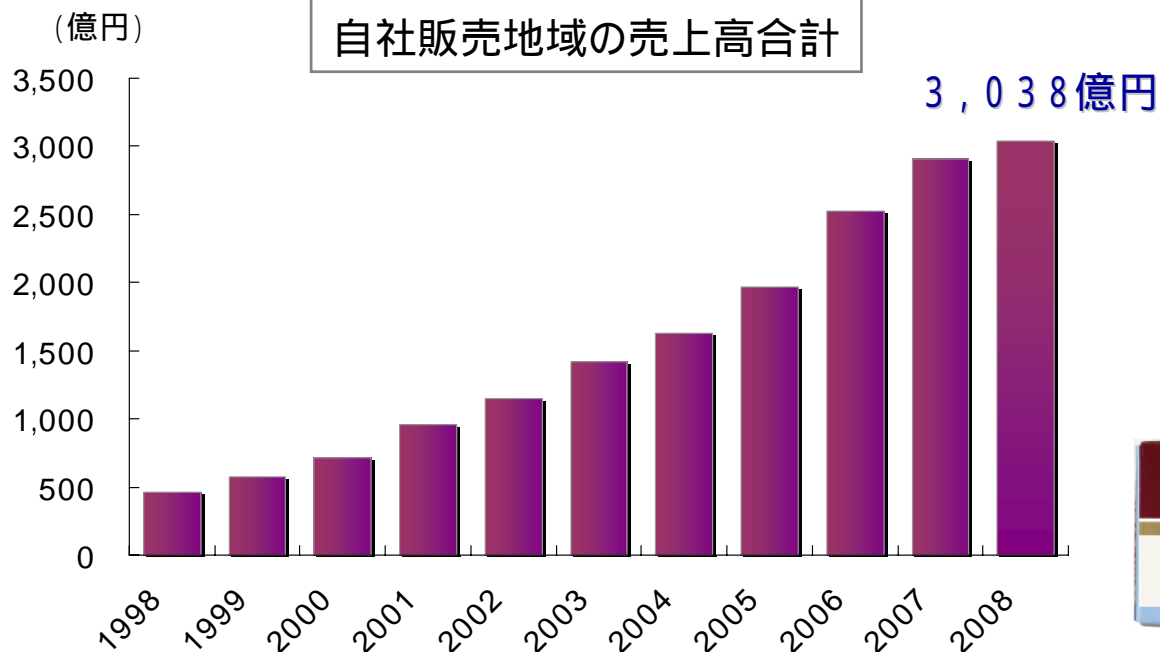


アルツハイマー病治療剤

アリセプト®

アルツハイマー病治療剤のNo. 1ブランド

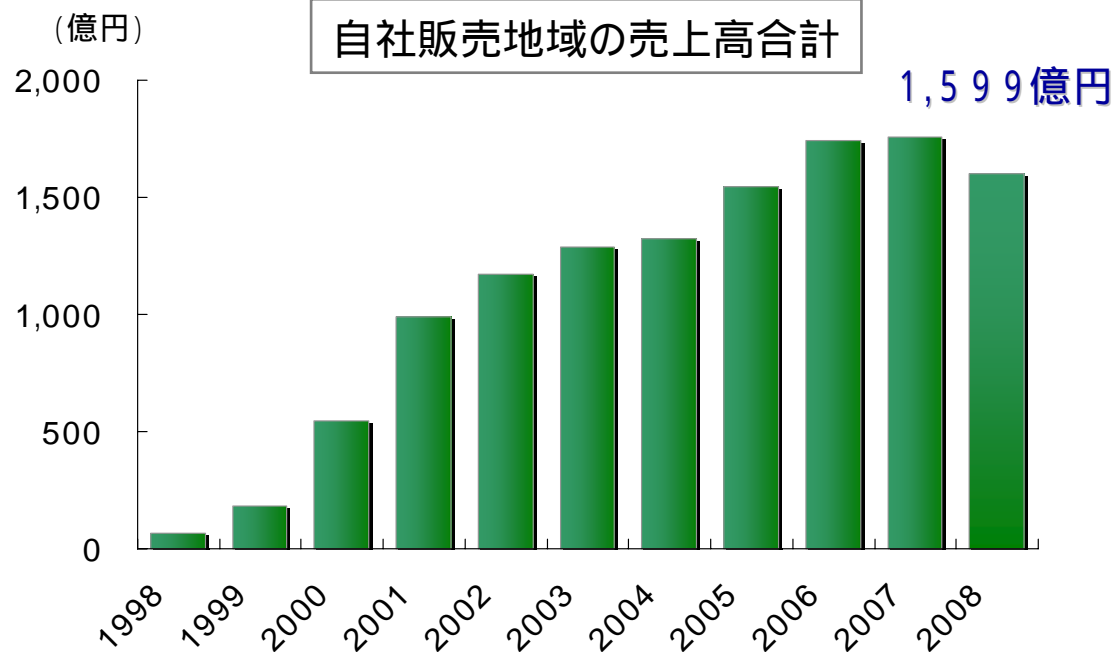
- 1997年に米国で発売以来、世界75カ国以上で販売
- 世界で唯一、軽度・中等度から高度まで全ての患者様に服用頂ける薬剤



抗潰瘍剤（プロトンポンプ阻害剤）

パリエット®（米国名：アシフェックス）

- 1997年日本での発売以来、世界85カ国以上で販売
- 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎などの治療で、効果発現時間の速さと確実な酸分泌抑制作用を確認



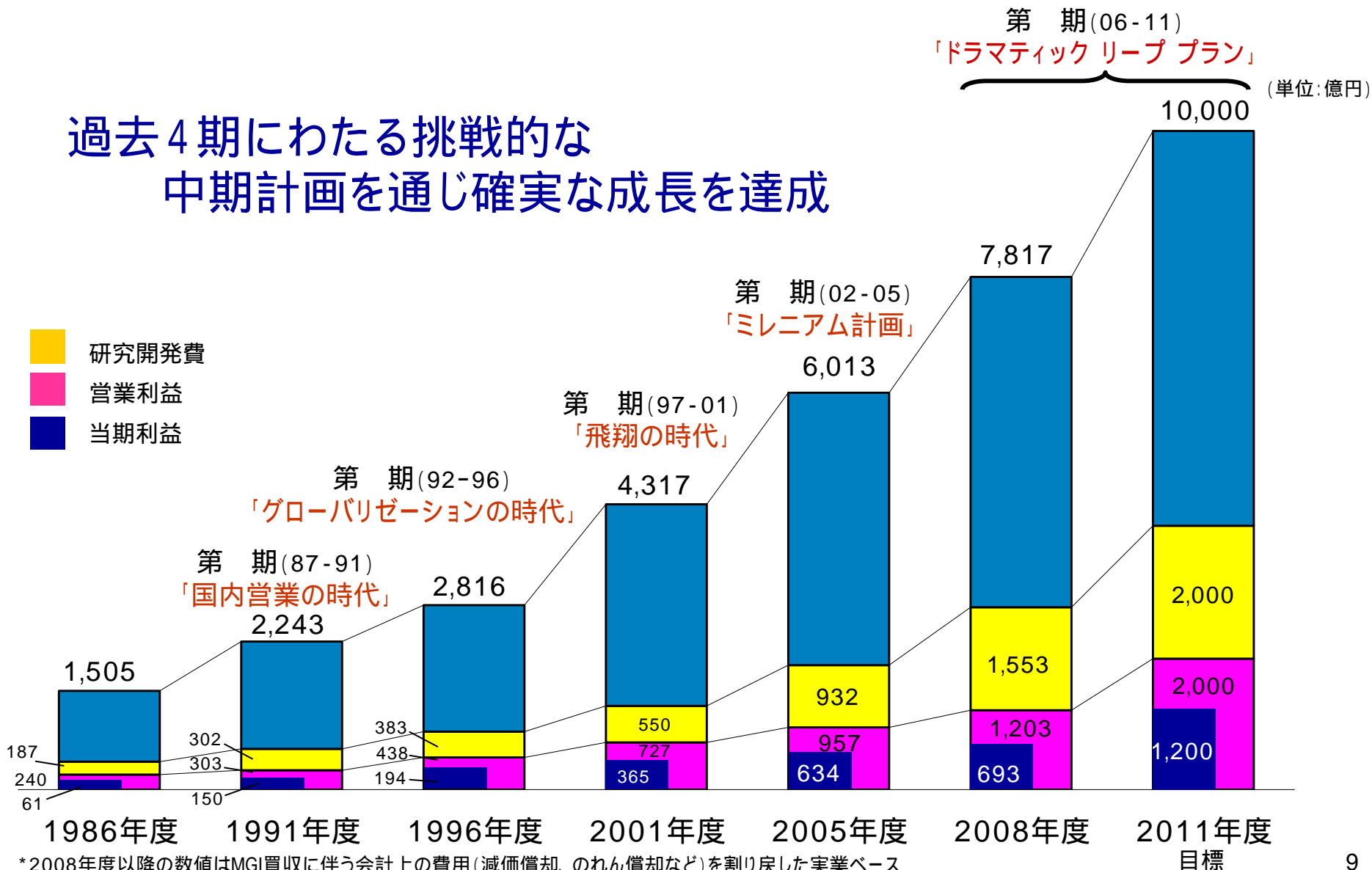
エーザイの沿革

1936年	エーザイの前身である桜ヶ丘研究所を創設
1941年	日本衛材株式会社を設立
1955年	社名を「エーザイ株式会社」とする
1961年	東京・大阪証券取引所第1部に上場
1970年	インドネシアに販売会社を設立
1982年	筑波研究所が竣工
1987年	ボストンに研究所を設立
1988年	英国に現地法人を設立
1991年	中国に製造・販売会社を設立
1992年	ロンドン研究所が竣工
1995年	米国に Eisai Inc.を設立
1997年	日本で抗潰瘍剤「パリエット」発売
1997年	米国でアルツハイマー病治療剤「アリセプト」発売
2004年	インドに販売子会社を設立
2006年	英国に欧州戦略拠点の建設を決定
2007年	米国バイオベンチャー、モルフォテックを買収
2008年	米国バイオファーマ、MGIを買収



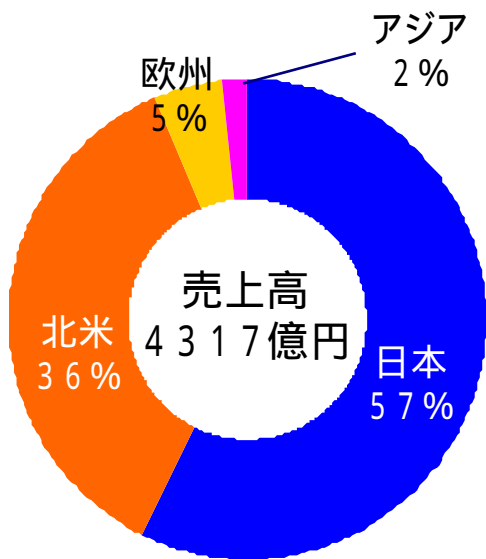
5期にわたる中期戦略計画の推移

過去4期にわたる挑戦的な
中期計画を通じ確実な成長を達成



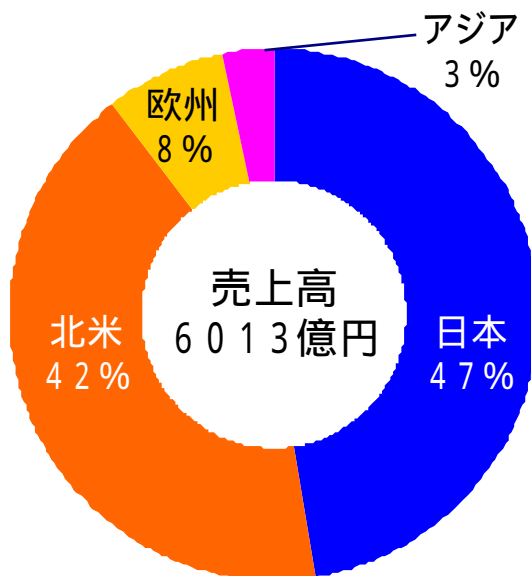
地域別売上高の推移

海外売上比
43%



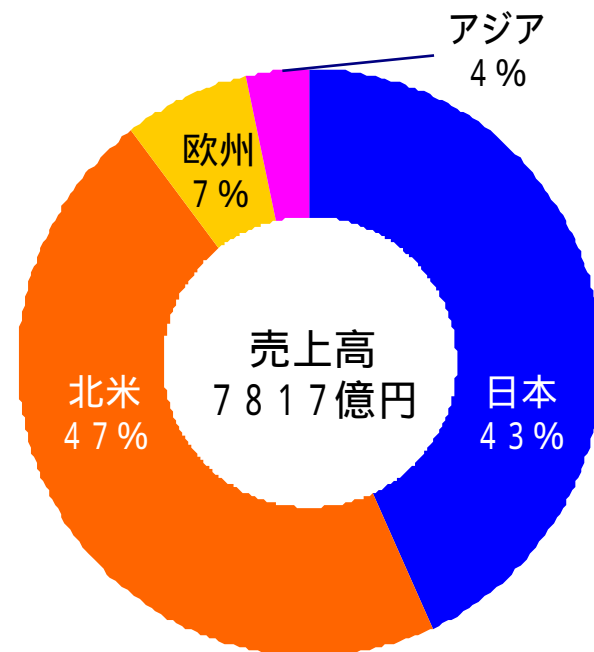
2001年度
第 期中期計画最終年度

海外売上比
53%



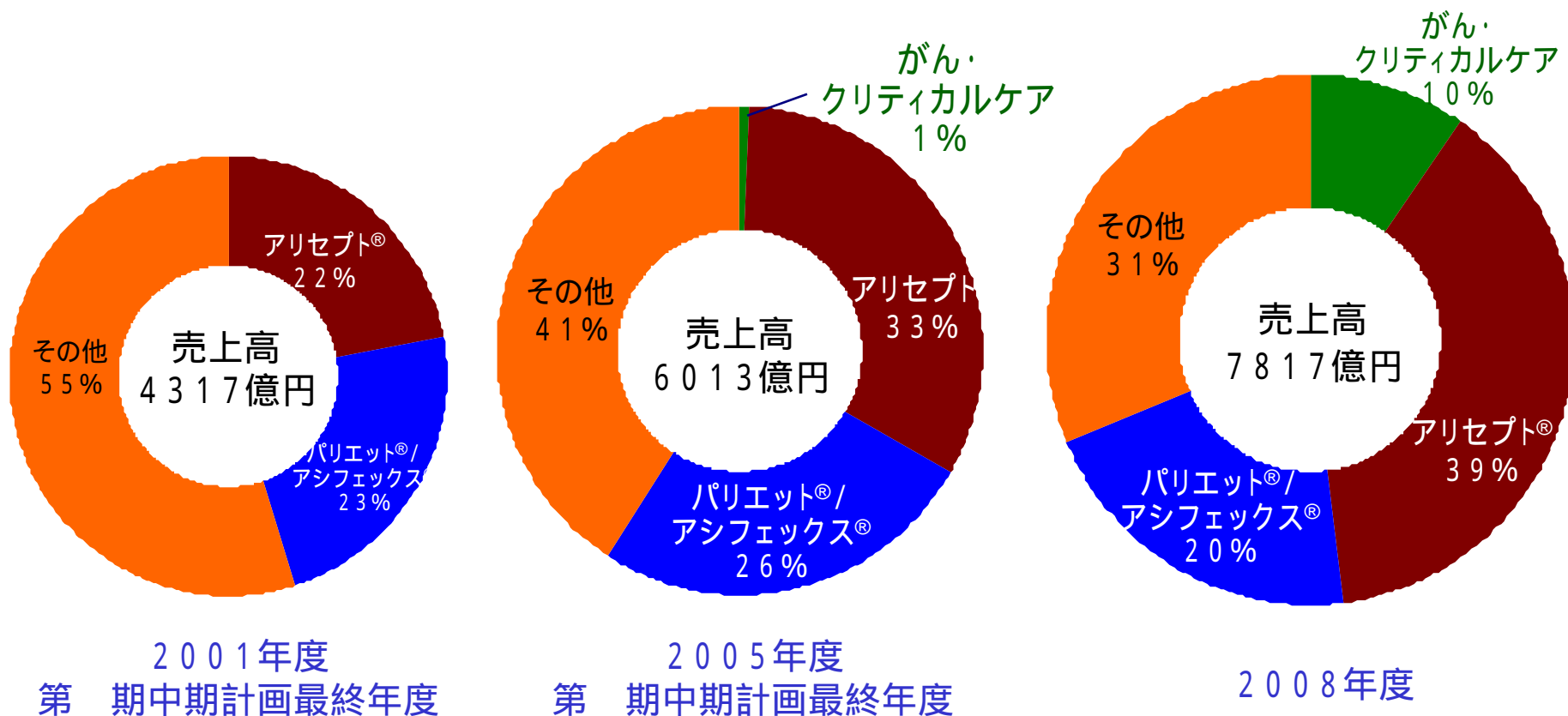
2005年度
第 期中期計画最終年度

海外売上比
58%



2008年度

主要製品売上高構成の推移



アリセプト® : アルツハイマー型認知症治療剤

パリエット®/アシフェックス® : 消化性かいよう・逆流性食道炎(胸やけなど)治療剤

理念・透明性

透明性は企業の背骨であり、成長の土台を成す

企業理念の実現

hvc

患者様と生活者の皆様の喜怒哀楽を考え
そのベネフィット向上を第一義とし
世界のヘルスケアの多様なニーズを充足する



患者様の真実を知る

hhcのシンボル

human health care

ヒューマン・ヘルス・ケア

hhc (human health care) のロゴマークは
フローレンス・ナイチンゲール(1820年~1910年)
直筆のサインから文字を引用しています

hhc

治療する側の発想だけでなく、ベッドの上にいらっしゃる
人びとの視線で医療を見つめることの大切さ。
みずから志し傷ついた人の看護に身を捧げた彼女の行
動のあり方に、思いを込めています。



Florence Nightingale

患者視点の発想から生まれた一例

ーカップ型ゼリー製剤の開発ー

アリセプト液剤の開発を検討



ペクチンを基剤に使用したはちみつレモン味



グループホームなど施設を訪ねまわる

アルツハイマーの患者様には、
嚥下困難の方が多く、食事などの固形物はもと
より、水分の摂取にも困難が多いことに気づく



患者様の懐に飛び込んで、
一緒に服用しやすいゼリーを追及

液剤開発を取りやめ、ゼリー剤の開発に変更

企業理念を定款に規定

2005年6月24日開催の株主総会で承認

1. 本会社は、患者様とそのご家族の喜怒哀楽を第一義に考え、そのベネフィット向上に貢献することを企業理念と定め、この企業理念のもとヒューマン・ヘルスケア (hhc) 企業をめざす。
2. 本会社の使命は、患者様満足増大であり、その結果として売上、利益がもたらされ、この使命と結果の順序を重要と考える。
3. 本会社は、コンプライアンス(法令と倫理の遵守)を日々の活動の根幹に据え、社会的責任の遂行に努める。
4. 本会社の主要なステークホルダーズは、患者様と生活者の皆様、株主の皆様および社員である。本会社は、以下を旨としてステークホルダーズの価値増大をはかるとともに良好な関係の発展・維持に努める。
 - 未だ満たされていない医療ニーズの充足、高品質製品の安定供給、薬剤の安全性と有効性を含む有用性情報の伝達
 - 経営情報の適時開示、企業価値の向上、積極的な株主還元
 - 安定的な雇用の確保、やりがいのある仕事の提供、能力開発機会の充実

第96回定時株主総会



個人株主数 推移

2005年3月	23,787名
2006年3月	28,261名
2007年3月	40,973名
2008年3月	64,845名

年々増加する株主の期待にこたえるため、2008年度より社外で開催

来場者数 1,026名
(前年より623名増)

開催時間 約2時間

質問数 19名

主なご質問

- ・大型新薬として見込まれる開発品
- ・ジェネリック事業の戦略
- ・インドに研究・生産拠点を配置する理由
- ・為替の変動が収益に与える影響
- ・将来の成長戦略
- ・抗がん剤の売上げ見込み



招集通知

会社法制定による記載内容の拡大にあわせて
2007年度より招集通知、事業報告等の改革に取り組みました

軽く 特殊紙
見やすく 総天然色
読みやすく 大きな字

注力のポイント

株主様の長期的な支援を
得るためのニーズを調査
株主様から求められる新たな
記載内容の組み入れ



2009年度版ページ数224頁

認知症への取り組み

患者様、介護者の生命・生活の質の改善をめざす

患者様、介護者の 生命・生活の質の改善をめざす

診断	治療		
	低分子	免疫療法	遺伝子関連
	認知機能改善 進行抑制	疾患修飾 A ・アミロイド斑低下	原因遺伝子を 標的とする創薬
簡易な検査 早期診断 新しい測定試薬 新しいマーカー	<p>アリセプト®</p> <p>E2012 (ガンマ セクレターゼ 修飾剤)</p> <p>ベータ セクレターゼ 阻害剤</p>	<p>A 抗体療法 BioArctic Neuroscience AB との共同研究</p> <p>ワクチン療法 DNAVEC Corp. との共同研究</p>	<p>TorreyPines Therapeutics Inc.より 研究資産を購入</p>
	アリセプト®有用性拡大の継続		(青字・下線: 既承認)
	<p>新適応</p> <p>軽度・中等度から高度 脳血管性認知症 レビー小体 小児適応(化学療法に伴う認知障害)</p>	<p>新剤形</p> <p>口腔内崩壊錠 液剤 ゼリー剤 徐放製剤 パッチ製剤</p>	

患者様、介護者に認知症についてのトータル情報を伝達することによる
現在から将来にいたる希望の創出

認知症になっても 安心して暮らせるまちづくり

病気の気づき

家族のチェック



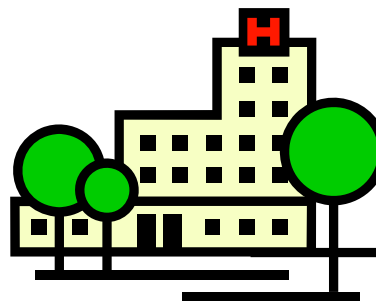
地方自治体や患者様・介護者の
ネットワークづくり

思い出せない
徘徊してしまう



不安
恐怖

受診喚起
検診システム



早期発見・治療に向けた
診断・治療ネットワークづくり

— エーザイが取り組む「まち」づくり —

住民が認知症を理解している「まち」

認知症になっても、
早期診断・治療が可能な「まち」

地域が患者様にやさしい「まち」

住民の理解



hvc human health care

市民フォーラムの実施

製品創出の新体制

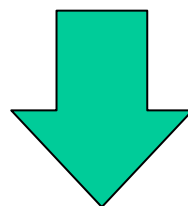
動機持つ輝く個人やグループが新製品を創りだす

プロダクト・クリエーション体制の スタート

リサーチ

&

開発



プロダクト クリエーション

発見から発売まで

プロダクト・クリエーション体制の スタート

- 患者様の真実を知る輝く個人・グループが製品を創出する
- 発明・発見から新薬承認までを一貫して達成する能力、権限を付与することによる製品創出への責任意識の醸成
- 領域毎の経験・専門知識は集積され製品創出に貢献する
- 強いリーダーシップに率いられ、目的と結果を共有する社内ベンチャー体制により製品創出における生産性の向上を目指す(平均160名/ユニット)

2009年度申請予定の 新規化合物

E7389 (一般名: eribulin mesylate)

- 抗がん剤 乳がん / 微小管ダイナミクス阻害剤
- 従来 of 乳がん治療剤での効果減弱後でも本剤投与による腫瘍の縮小が確認され、延命効果を期待
- しびれ等の末梢神経障害の副作用の発現が少なく、その程度も弱い
- 2009年度第4四半期 日米欧同時申請予定

2009年度申請予定の 新規化合物

E 5 5 6 4 (一般名:eritoran tetrasodium)

- 重症敗血症 / エンドトキシン拮抗剤 (日米欧: フェーズIII)
- 全身性ショックや臓器の機能不全を惹き起こす敗血症の原因物質による障害作用を抑え、生存率の向上を期待
- 2009年度第4四半期 日米欧同時申請予定

患者様の生命・生活の質を改善する 10個の製品創出テーマ

< > 内は申請予定

E5564

(eritoran)

< 2009年度 >

重症敗血症 < 後期臨床研究段階 >

全身性ショックや臓器の機能不全を惹き起こす、敗血症の原因物質による障害作用を抑え、生存率の向上が期待される薬剤

E7389

(eribulin)

< 2009年度 >

難治性乳がん < 後期臨床研究段階 >

しびれ等の末梢神経障害の副作用が少なく、延命効果が期待される抗がん剤

E2007

< てんかん : 2012年度 >

神経因性疼痛、てんかん < 後期臨床研究段階 >

新しいメカニズムで神経細胞に作用して、痛みやてんかん発作の軽減が期待される

E5555

< 急性冠症候群 : 2012年度 >

急性冠症候群、アテローム血栓症 < 後期臨床研究段階 >

血管壁の厚みが増すのを抑えることと、血小板が集まり固まって血栓ができることを防ぐという2つの作用で、心筋梗塞の再発予防などをめざす薬剤

AS-3201

糖尿病性神経障害 < 後期臨床研究段階 >

高血糖によって神経障害を引き起こす原因と考えられる物質の蓄積を抑え、糖尿病性神経障害の治療が期待される薬剤

患者様の生命・生活の質を改善する 10個の製品創出テーマ

MORAb-003

卵巣がん <後期臨床研究段階>

卵巣がんなどに特徴的に見られる、「葉酸受容体」に結合して、卵巣がんの治療に加えて再発までの期間を延長する可能性を持つがん治療抗体

MORAb-009

すい臓がん、中皮腫 <後期臨床研究段階>

すい臓がんなどに特徴的に見られる、「メソセリン」に結合して、難治性のすい臓がんや中皮腫の治療効果を期待するがん治療抗体

E7080

がん <後期臨床研究段階>

がんに栄養供給をする血管を作り出すのを抑えて、栄養供給をできなくすることで、がんの増殖を抑えるタイプの抗がん剤治療効果の得にくいメラノーマに対する効果も期待される

AKR-501

血小板減少症 <後期臨床研究段階>

血小板減少症に対して、血小板輸血に代わり得る治療薬をめざす

E2012

アルツハイマー型認知症 <早期臨床研究段階>

病気の原因と考えられる、アミロイドの産生を抑え、病態の進行抑制作用をもつ次世代アルツハイマー型認知症治療剤をめざす

1. アリセプト®のさらなる患者様貢献の拡大

- 小児有用性の確立：
がん化学療法に伴う認知障害に対する小児用開発計画を説明するPPSR (Proposed Pediatric Study Request)を2009年2月19日にFDA提出、2009年8月に回答見込み
- 23mg徐放製剤 (SR) : 2009年度上期申請を目指す
- 経皮吸収型パッチ製剤：
帝國製薬と契約を締結、Teikoku Pharma USAによる2009年度中頃申請を予定

2. がん関連領域への転換加速

MGI品の貢献

- 2011年売上目標: 10 - 11億ドル
- 利益貢献
- 全リージョンでがん関連の新製品への万全の準備、
および2011年には米国がん関連領域の売上比率30%以上をめざす



3. 新薬の確度向上、継続上市

エリブリン	: 乳がん (2009年度申請予定)
エリラン	: 重症敗血症 (2009年度申請予定)
E2007	: 神経因性疼痛、てんかん (2012年度申請予定)
E5555	: 急性冠症候群 (2012年度申請予定)
MORAb-003	: 卵巣がん
E2012	: AD型認知症

4. 日本事業は市場を大きく上回る2ケタ成長の持続

- フルステージ適応を持つアリセプト®とPPI内シェア拡大中のパリエット®による継続的成長
- ヒュミラ® (関節リウマチ) 早期拡大
- 新薬の継続的な投入
 - シブトラミン : 肥満症 (申請中)
 - ヒュミラ® : 乾癬 (申請中)、クローン病 (2009年度申請予定)
 - ナーブロック® : 痙性斜頸 (申請中)
 - ベンダムスチン : 低悪性度非ホジキンリンパ腫 (2009年度申請予定)
 - エスゾピクロン : 不眠症 (2010年度申請予定)

株主還元の方

会計規則ベース

現行会計基準によるもの

実業ベース

企業活動の実態を見るため、会計規則ベースから
企業結合会計特有の処理(非キャッシュ項目)を除いたもの

キャッシュ・インカム

キャッシュ創出力を表わす当社独自の経営指標

成長投資・事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュ総額

企業の成長性・戦略を検証する尺度

算式 = 当期純損益 + 有形・無形固定資産償却費
+ インプロセス研究開発費 + のれん償却
+ 減損損失(投資有価証券評価損を含む)

キャッシュ・インカムの配分方針

バランスの良い資金使途を実践し、
企業価値・株主価値の極大化を目指す

成長投資

成長機会をとらえて
積極的な投資

配当

継続的・安定的な
配当還元

返済原資等

計画的な返済原資の確保
財務体質の強化

中期的な
キャッシュ・
インカムの
配分割合は
各使途に
3分の1

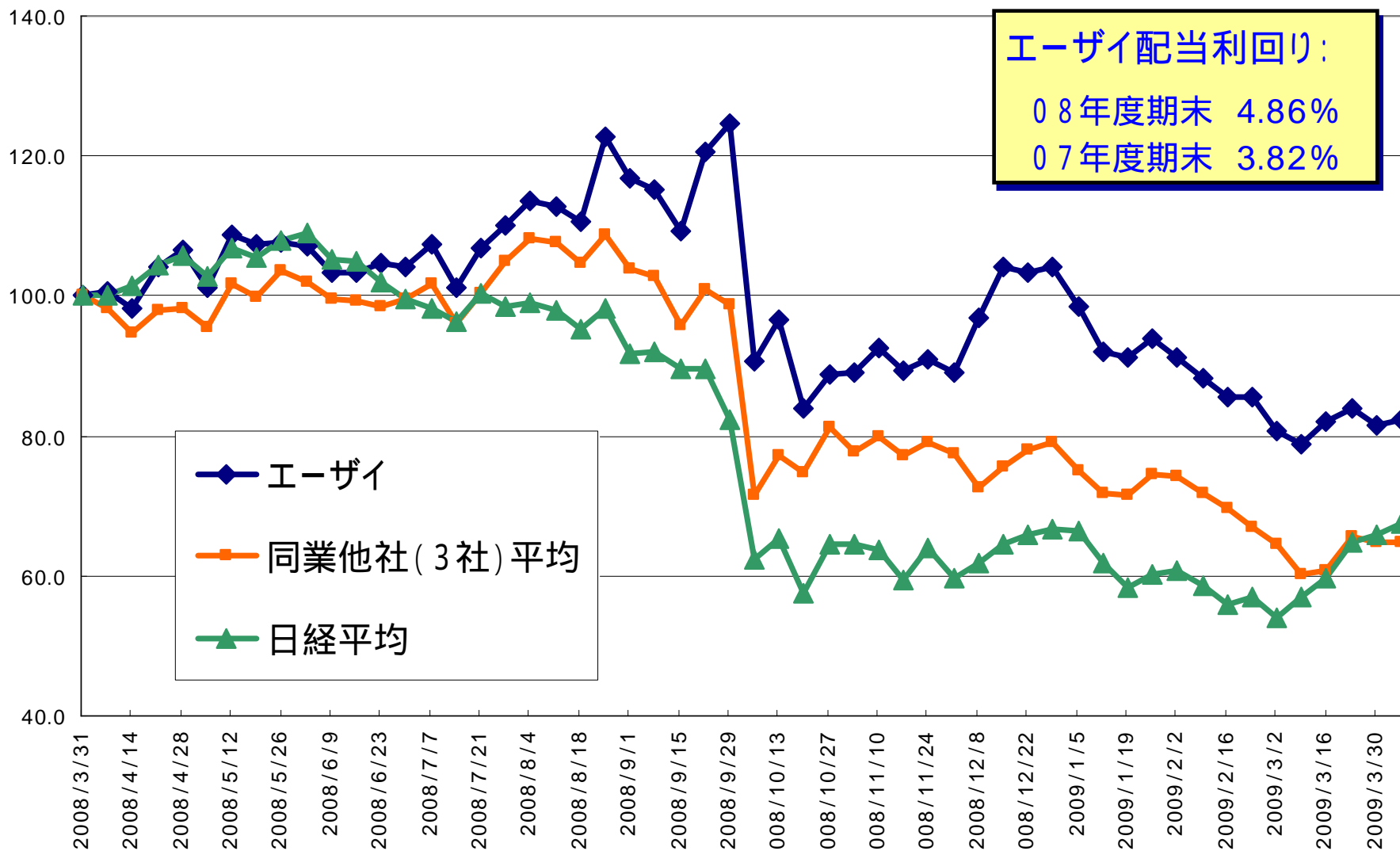
継続的・安定的な配当の実行

増配基調の堅持をめざす

(円)



株価の推移



2008年3月31日株価を100としたときの株価推移

2009年度 連結損益業績見通し

(億円、%)

	2008年度		2009年度				
	実績 (実業ベース)	売上比	見通し (会計規則 ベース)	企業結合 会計処理	見通し (実業ベース)	売上比	前期比
売上高	7,817	100.0	8,200	-	8,200	100.0	105
売上原価	1,340	17.1	1,575	165	1,410	17.2	105
売上総利益	6,478	82.9	6,625		6,790	82.8	105
研究開発費	1,553	19.9	1,640	8	1,632	19.9	105
販売管理費	3,722	47.6	3,955	87	3,868	47.2	104
営業利益	1,203	15.4	1,030		1,290	15.7	107
経常利益	1,111	14.2	970		1,230	15.0	111
当期純利益	693	8.9	630		830	10.1	120
キャッシュ・インカム	1,190		1,200				
配当金(円)	140		150				

* 2009年度予想レート 米ドル:95円(前年変動率 5.5%)、ユーロ:125円(同 12.9%)、ポンド:135円(同 22.4%)

エーザイは経営情報を積極的に開示し
企業の透明性を高めて

皆様が社会に貢献する企業に投資していると
確信いただくよう全力をもって
誠実に経営いたすことをお誓いする

【お問合せ先】

エーザイ株式会社

総務部 株式担当

0120-501-217

IR部

0120-745-040